

○日 時 令和5年6月26日(月) 10時00分～11時00分

○場 所 大垣市牧田公民館 1階大ホール

○出席者

・委員

三宅 治、杉田 邦隆、萩永 秀樹、川地 潤二、川添 公男、近藤 茂、谷口 圭子、
片山 園代

・公民館長

芳田 眞理井(牧田)、三輪 賢司(一之瀬)、田中 和也(多良)、金森 雅之(時)

・教育委員会事務局

細江 敦(教育長)、平松 善幸(事務局長)、林 昭義(社会教育スポーツ課長)、宮崎 友秀(同
課参事)、田中 真貴(同課主幹)、市川 美友(同課主事補)、堀本 直紀(地域政策課主幹)、
三輪 真奈美(同課主査)

・オブザーバー

三輪 健治(地域政策課長)

・傍聴者 無し

【開会 10時00分】

1 開会のことば(事務局)

2 教育長あいさつ(細江教育長)

3 自己紹介

4 議題

(会長)

会の開催に先立ちまして、この会は、大垣市情報公開条例の規定に基づき、非公開とする情報がないため公開と致します。傍聴人はいらっしゃいますか。

(事務局)

いらっしゃいません。

(会長)

それでは、議事に入ります。議題(1)(2)については関連がありますので、(1)令和4年度 公民館事業報告についてと(2)令和5年度公民館事業計画についての2議案を事務局から説明願います。

<事務局より資料に基づき説明>

- ・令和4年度公民館事業報告について(P2～P7 資料参照)
- ・令和5年度公民館事業計画について(P8～P12 資料参照)

(会長)

ありがとうございました。それではこれから質疑に入りたいと思います。ご質問ご意見等ある方は、お願いします。どなたからでも結構です。

(委員)

地域の先輩方が公民館講座で活躍されているというのは知っております。元気に長く地域の中で活動していただける先輩方がいると、私たち子育て世代の子供たちも安心するまちができると思います。夏休みに子供会でラジオ体操をするときに、知った顔のおじいちゃんおばあちゃんに会うことで元気なまちができます。地域が一緒というだけでただ知っているというだけでも繋がっていくし、子どもたちの元気をおじいちゃんおばあちゃんに、そして、おじいちゃんおばあちゃんのいろいろな技術を子どもたちに伝承していただけたらいいのかなと思います。今後も公民館講座を続けていただきたいと思います。

(会長)

ありがとうございました。一之瀬公民館はいろいろな行事がありますが、館長さん何かご意見はありますか。

(一之瀬公民館長)

やはり地域のよさは、緑と清流牧田川ですね。去年は、いかだを作って川下りをしました。子供会の方の協力を頂いて地域の指導の下、楽しくできました。斜めの関係と言いますが、いろいろな人に教わり、声かけしてもらいながら地域づくり、人づくりに貢献出来たらと思います。

(会長)

ありがとうございました。

(委員)

公民館講座を3月の文化祭で発表するなど、発表の場があるとやりがいがあると思います。習ったものを発表することは大事だと思います。コロナも収まってきつつありますので、もう一度、元に戻ってほしいと思います。時地区も以前は4つぐらいの発表があったのですが、少なくなって、しぼんできている気がします。歩け歩け大会ではゴルフ場と協力し、コースを歩いています。朝早く歩くのですが、参加者の方々からも良かったという意見が多いです。良いものは続けてほしいです。コロナが収まってきて、行事をどうするかということ、一歩前に踏み出すのか、全て元にもどすのか、新たに増やしていくのかということを考えていかないといけないと思います。予算の問題にも絡んできます。人口が減少しているので、会費も集まらないので、そのあたりも考えていかないといけないです。

(会長)

ありがとうございました。時地区では歩け歩け大会をゴルフ場を使ってということでしたが、今年初めて多良でも同じ試みをされました。そのあたりいかがでしたか。

(委員)

今年はじめ、メナードカントリークラブにお願いしまして、歩け歩け大会をしました。当初は朝が早いので人が集まるか心配だったのですが、スタッフまで120名の方に参加いただきました。思ったよりも女性と子供が多かった。なぜかというとな女性はウォーキングする方が多い。またお子さんが参加すれば親がくる。参加する人の状況を考えた企画を今後練っていかないといけないと思いました。6月実施だったので朝6時スタートでもすんなりいきました。またゴルフ場も経営が今難しいようです。お互いがうまくいくような企画を作ればいろんな形の行事ができるのではないかと思います。今後多良でいろいろ行事を企画しますのでご参加いただければと思います。

(会長)

ありがとうございました。

(委員)

教育長さんのお話の中で学びの場交流の場というお話があったのですが、本当にその通りだと実感しております。私は以前昼間仕事しておりまして、地域のことにはまったく関与せず、もちろん公民館講座にも参加できませんでした。しかし定年を迎え、公民館講座に参加させていただいて、色々な方がみえて、講座以外のこと、例えば、畑の苗植えのことや手入れのことを経験豊かな方から教えていただいたり、遠方からみえる方やら、さまざまな年代であったりが楽しくやって、学びの場、交流の場となっております。

昨年度の公民館運営審議会で一つ一つの講座のメンバーが固定化されていて、入るのに敷居が高い気がすると感じられている、という話がありましたが、私の受講しているフラダンスで言うと、旧大垣市内からや養老町からの方もいて、また、そのお友達に広がって、いろいろなところから参加されて、楽しく活動しています。講座も開かれていくと理想的かなと思います。

もう一つ、子どもたちに伝統文化を伝える場があると良いと言いましたら、今年度「子どもお茶教室」の講座を開設していただきまして、講座をやらせていただいております。8人のお子さんですが、小学校1年から中学1年までみえます。お茶は楽しいということや、お菓子のいただき方とか、お客様に対するおもてなしや、自分が客として招かれた場合の客同士での譲り合いや、言葉のかけあいを学ぶことで、今後の人間関係がうまくいくように少しでも役立てればと思いながらやっております。

広く開かれた公民館講座になることを願っています。

(会長)

ありがとうございました。昨年度の会議の中でご提言いただいた内容が活かされているということは、素晴らしいことですね。

(委員)

あまり公民館講座に今は携わっていないのですが、自分が小さいころ母と一緒に牧田のサークルに参加していたことを資料を見て思い出しました。自分が母になって、自分の子供にも伝えられるように私も何かに参加したいなと思いました。

(委員)

講座をみなさん楽しんで参加されているとおもいますが、私も参加したいのですが、なかなか踏み切ることができない。楽しんで参加されている方が、周りに楽しさを伝えていただきたいと思います。たとえばそば打ち講座は、そばをまわりに提供して食べていただくといいかとおもいます。どんな形でもいいので楽しさを周りに伝えていただくといいかと思います。

(委員)

たくさんの講座があることを知りませんでした。今後は参加してみたいです。

(副会長)

今年度は上石津にとっていろいろな意味でターニングポイントポイントになると思います。ひとつは上石津学園ができることによって4つの小学校が廃校になることです。従来、まちづくりのさまざまな活動は小学校単位で行われてきました。それで今後公民館の存在意義がますます高まってくると思います。したがって、各公民館につきましては、それぞれの地区のまちづくり協議会等、緊密な連携を取りながら引き続き地区の活動を行っていただいて、小学校がなくなることにより寂しくなりますが、補って余りある活動を今後行っていく必要があると思います。

(会長)

ありがとうございました。コロナ禍で中止をせざるを得ないその中でどのような対策をしたか、コロナ禍で沈滞してきた講座・サークルを今後どのように立て直していくか、小学校がなくなることによって地域の子供たちを含めての拠点となるのが公民館であるという中で、今後公民館がどうなったらいいのか今後の課題であろうとおもいます。これらの点で公民館長さんはどのようにお考えになっているのか教えていただきたいと思います。

(一之瀬公民館長)

6月初めに、ほたる祭りを開催しました。毎回「ゆうべの音楽」ということで小学生、保育園児などに歌ったり踊ったりしていただいていたのですが、それがもう最後になります。地域のことについて学校に頼れないので地域のみんなで応援・企画して、公民館が拠点となっていくように地域の各団体と協力連携しながら進めていかなければいけないなとひしひしと感じております。

(牧田公民館長)

牧田も公民館を拠点として地域の活動を行っております。老若男女問わず公民館を使っていたいただいておりますので、これからもがんばって拠点であるようにやっつけようと思っております。

(多良公民館長)

施設の概要のところが多良の公民館だけ調理室がございません。せっかく跡地利用で多良小学校といういい器がありますので、そちらに公民館なり調理室なりを設けていただけるとありがたいです。

(時公民館長)

今までは時地区の公民館活動のひとつの核が小・中学生という子供たちということになっています。農業関係の人たちは、小学生を集めて田植えや芋ほり体験をやらせてもらっています。学校行事として時の発電所を見学したり、文化祭では子供たちの作品を展示したり、活動を発表してもらったりと、そのように協力していただいています。今後学校がなくなることで、地域の子供たちをどういう形でまとめていくのか、どういう形で参画してもらおうのかというのが重要になっていくのだろうなと思います。そしてどう巻き込んでいくのか。学校の先生OBに頼んで夏季講習会をやる面白いかと今考えています。

(会長)

ありがとうございました。みなさんからご意見をいただきました。

地域の拠点が、施設も含めて、公民館がいかに機能していくのが大きな要素になっていくのではないかとのことでした。これは来年度以降の大きな課題であろうと思います。

時間の都合により、質疑を終わりたいと思います。

以上 議事全て終了することができました。皆様方のご協力ありがとうございました。

6 地域づくりの事例発表

(司会)

ありがとうございました。それでは、次第6の地域づくりの事例発表に入ります。

公民館運営審議会では公民館に関する行事と講座だけを審議するのではなく、公民館を拠点として取り組まれている幅広い地域づくりの活動を発表いただくことで、より意義のある会にしたいと考えております。今年の会場は牧田地区でするので、地域づくり活動の発表を、牧田公民館長の芳田眞理井さんをお願いしたいと思います。芳田館長さんよろしくお願ひいたします。

(牧田公民館長)

- ・牧田まちづくり協議会について（組織図より説明）
- ・地域活動のようす（地域活動について説明）

7 その他

(司会)

それでは、次第7その他 に入ります。全体を通して何かご意見ないでしょうか。

8 閉会のことば

(司会)

委員の皆様方のお力添えをいただきながら、より良い館の運営に努めてまいりたいと思います。

これをもちまして、令和5年度 大垣市公民館運営審議会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

【閉会 10時52分】

記録 大垣市教育委員会事務局 上石津地域事務所 地域政策課 主幹 堀本 直紀

以上 会議の次第を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 5年 月 日

大垣市公民館運営審議会 会長 _____